



あんしょう 暗唱にチャレンジ②



ねん ぐみ なまえ
年 組 名前 ()



おぼ 覚え方ポイント

1. 何度も読む 2. かくしながら覚える
3. 書いて覚える 4. 友達と一緒に覚える

おぼ 覚えたら ともだち 友達に 聞いてもらおう!

おぼ すべて覚えられたら しょくいんしつ 職員室にいる

せんせい 先生に かくにん 確認してもらおう!

② 詩

積つた雪 金子 みすゞ
上の雪 さむかるな。
つめたい月がさしていて。
下の雪 重かるな。
何百人ものせていて。
中の雪 さみしかるな。
空も地面もみえないで。

① いろはかるた

ち 塵もつもれば山となる
り 律儀者の子沢山
ぬ 盗人の昼寝
る 瑠璃も玻璃も照せば光る
を 老いては子にしたがえ
わ 割れ鍋にとじ蓋
か かつたいの瘡怨み

④ 百人一首

かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞふけにける
花の色は うつりにけりない たづらに わが身よにふる ながめせしまに
ちはやぶる 神代もきかず 竜田川 からくれなゐに 水くくるとは
山里は 冬ぞさびしき まさりける 人も草も かれぬと思へば
人もをし 人もうらめし あぢきなく 世を思ふゆゑに 物思ふ身は
中納言家持 小野小町 在原業平朝臣 源宗于朝臣 後鳥羽院

③ 故事成語

推敲 詩や文章をよくするために、言葉や表現を
何度も考えて手直しすること。
背水の陣 逃げられない場所に身を置いて、全力をつくすこと。
覆水盆に返らず 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと。
矛盾 前に言ったことと、後に言ったことが合わないこと。
漁夫の利 人と人が争っている間に、関係のない他の人が苦勞せずに得をすること。

⑤ 春の七草
せり ならぬ ござょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ
これぞ 七草